

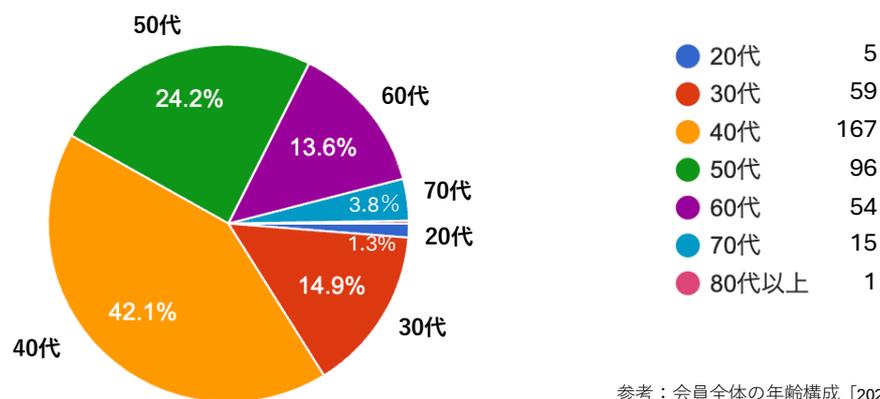
これからのJAGDAを考えるためのアンケート

設立から46年、JAGDAはグラフィックデザインの向上を目指して多岐にわたる活動を展開してきた。全国の会員の尽力により、JAGDAは国際的にも類を見ない活発なデザイン団体になった。現在、産業、技術、メディアの大幅な変革に伴い、デザインの領域も拡大し、変化している。グラフィックデザイン業界の基盤が変化を迫られている変動期において、グラフィックデザインの未来とJAGDAの今後の方針を検討するため、会員アンケートを実施した。

- ・ 調査方法： インターネット調査
- ・ 調査対象： JAGDA正会員（2,899名）
- ・ 調査期間： 2024年8月27日（火）～9月9日（月）
- ・ 質問数： 18問（自由記述式5問／選択式13問）＊無記名式
- ・ 回答数： 397名（回答率13.7%）

Q1. 年齢

397 件の回答

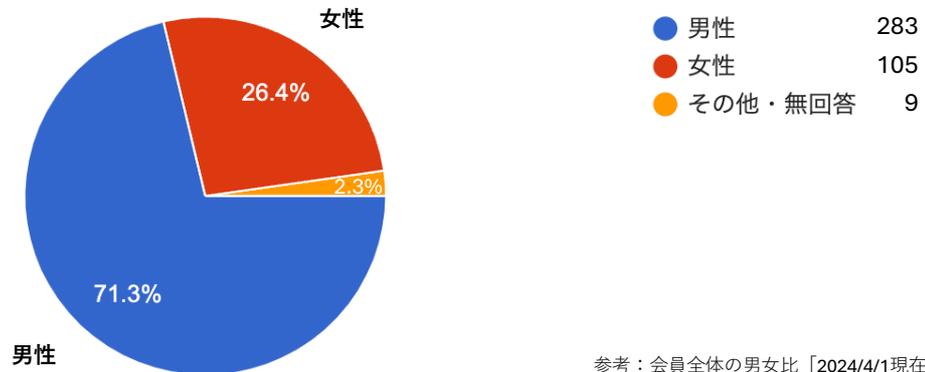


参考：会員全体の年齢構成 [2024/4/1現在]

20代	1.0%
30代	15.4%
40代	38.2%
50代	26.9%
60代	12.8%
70代	4.8%
80代以上	1.0%
平均年齢	49.9歳

Q2. 性別

397 件の回答

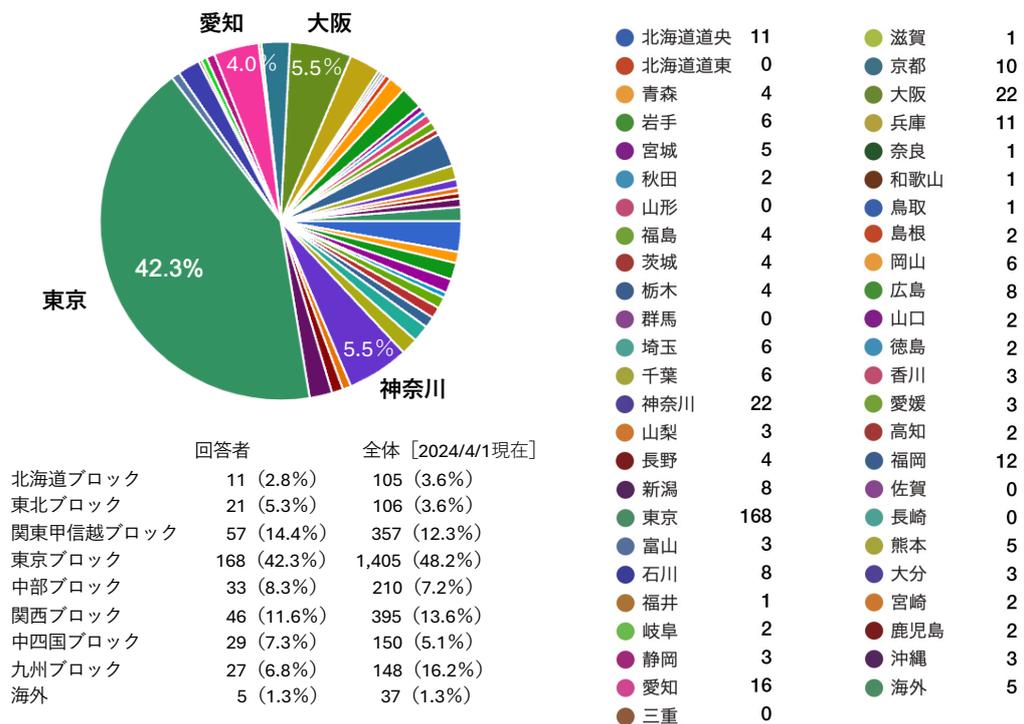


参考：会員全体の男女比 [2024/4/1現在]

男性	72.5%
女性	27.5%

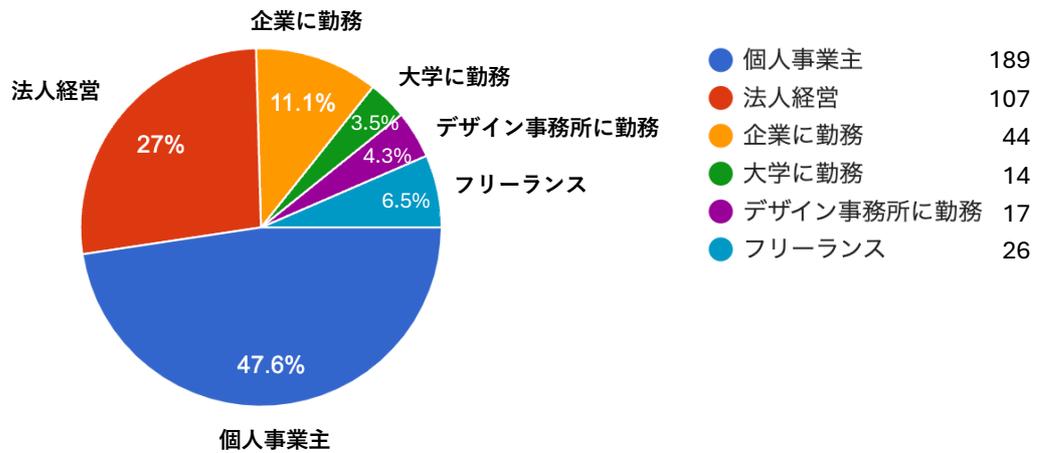
Q3. 地区

397 件の回答



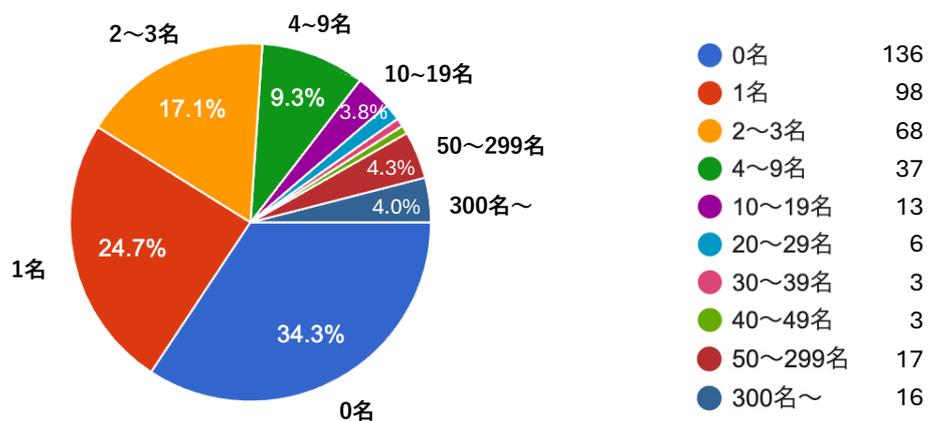
Q4. 仕事の形態を教えてください

397 件の回答



Q5. 会社のスタッフ数を教えてください

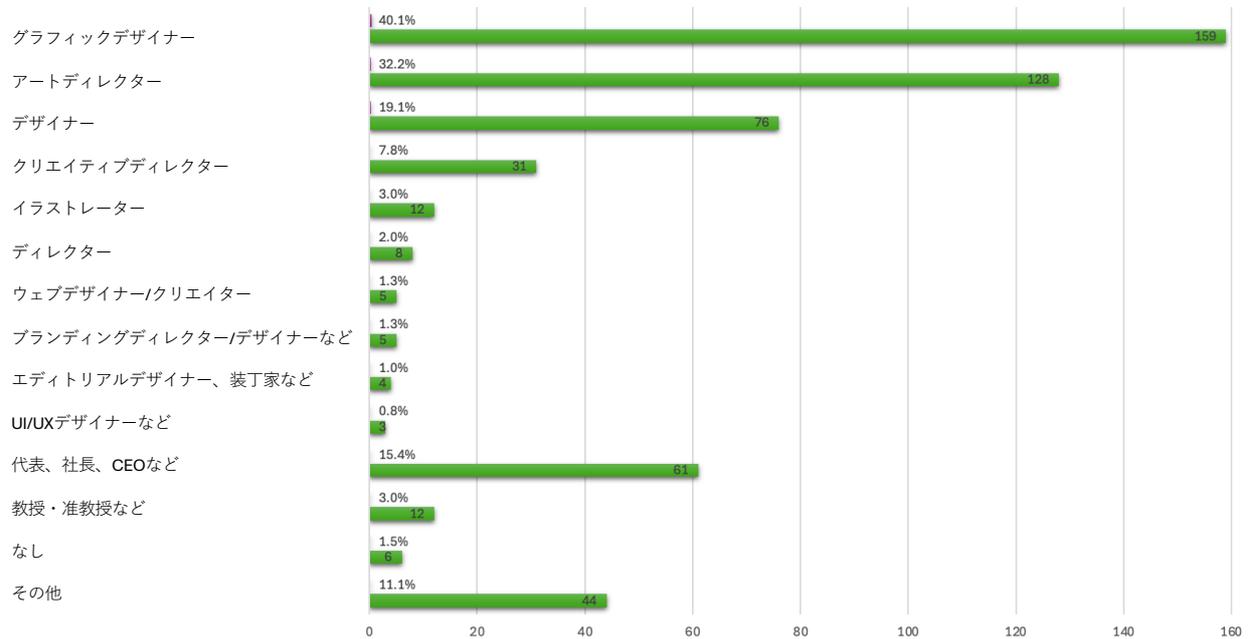
397 件の回答



中央値： 1名

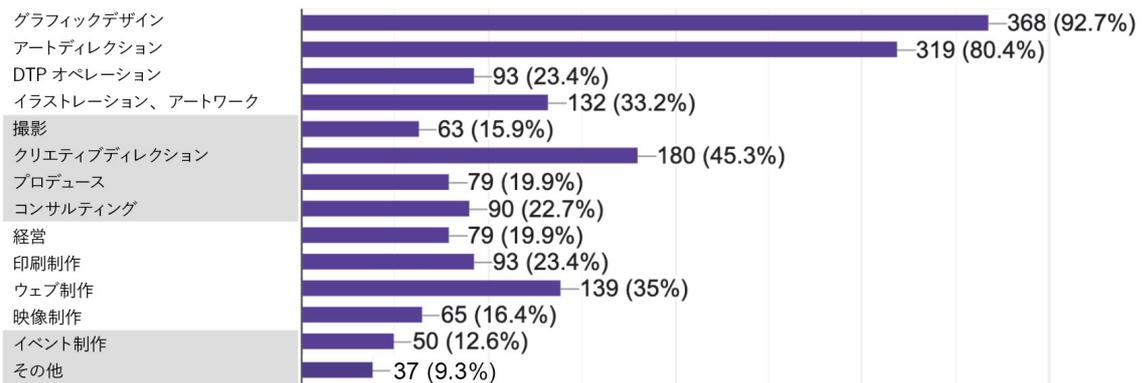
Q6. 現在お使いの肩書きを教えてください (複数回答可)

397 件の回答



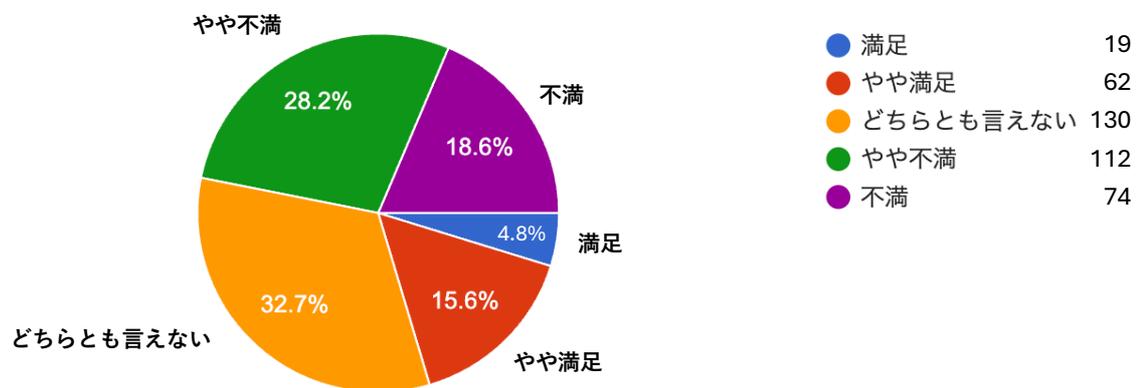
Q7. 仕事での主な役割を教えてください (複数回答可)

397 件の回答



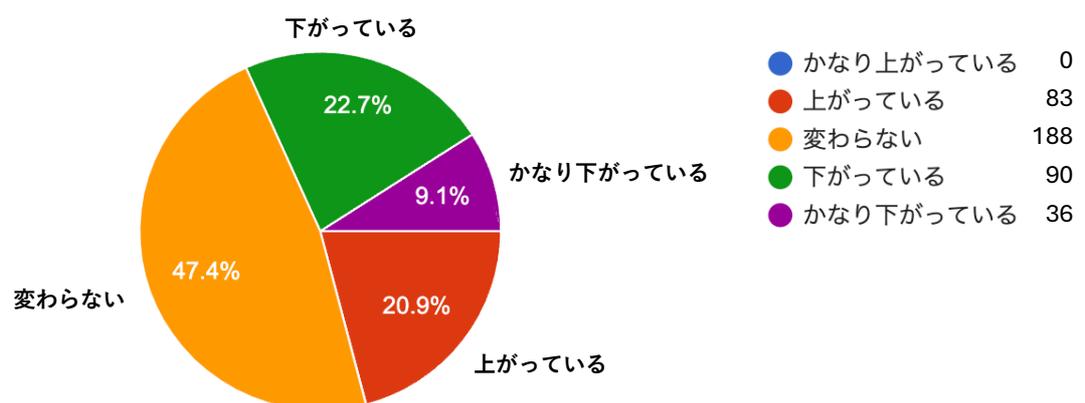
Q8. デザイナーの方にお聞きします。現在のデザイン料金に満足していますか？

397 件の回答



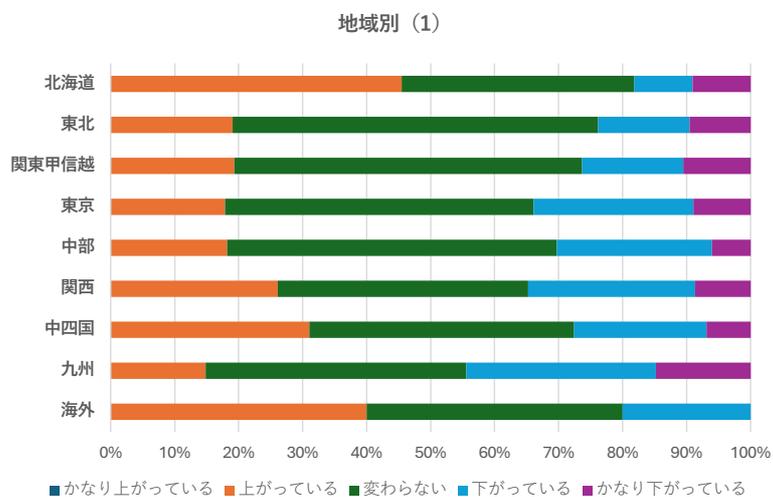
Q9. デザイン料金は変化していますか？

397 件の回答



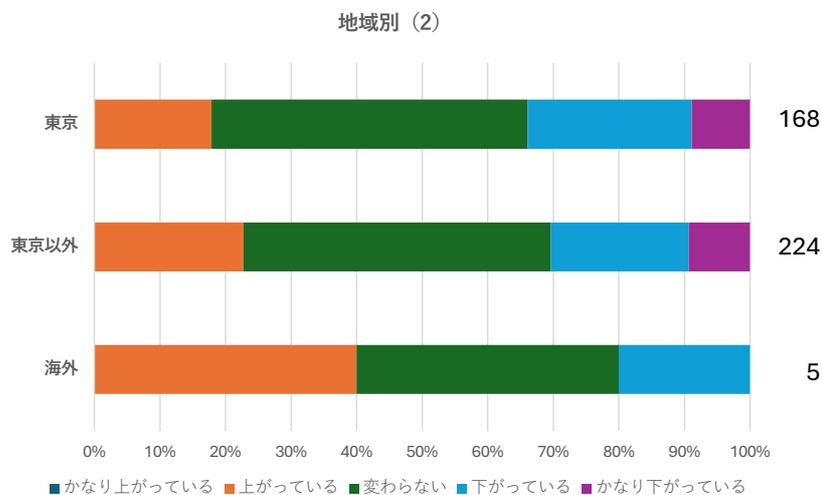
Q9. デザイン料金は変化していますか？

397 件の回答



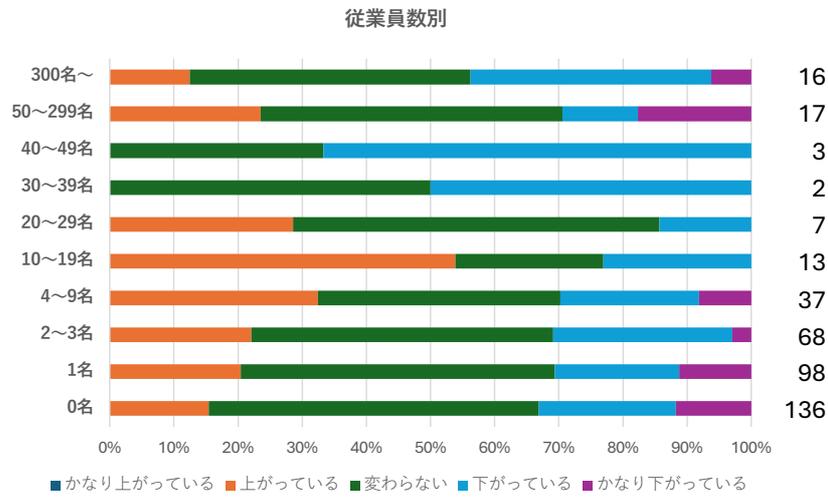
Q9. デザイン料金は変化していますか？

397 件の回答



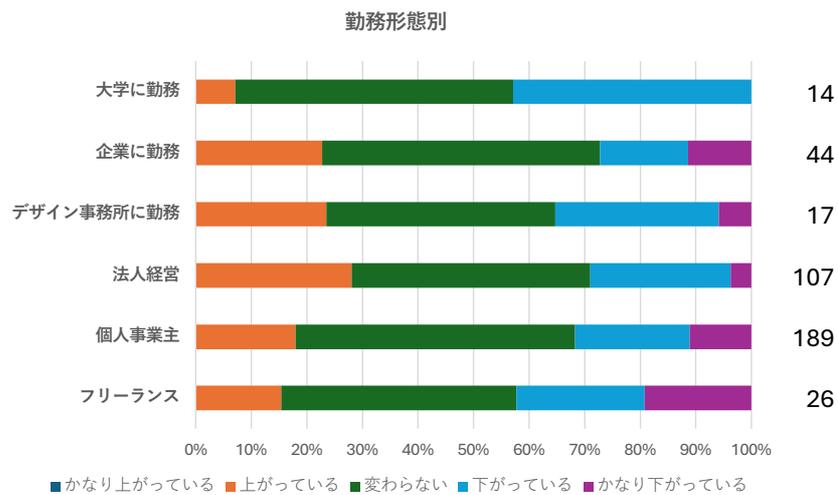
Q9. デザイン料金は変化していますか？

397 件の回答



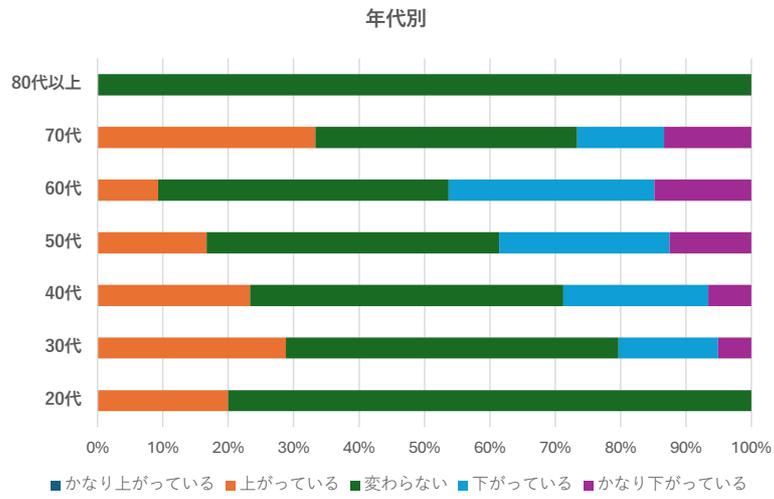
Q9. デザイン料金は変化していますか？

397 件の回答



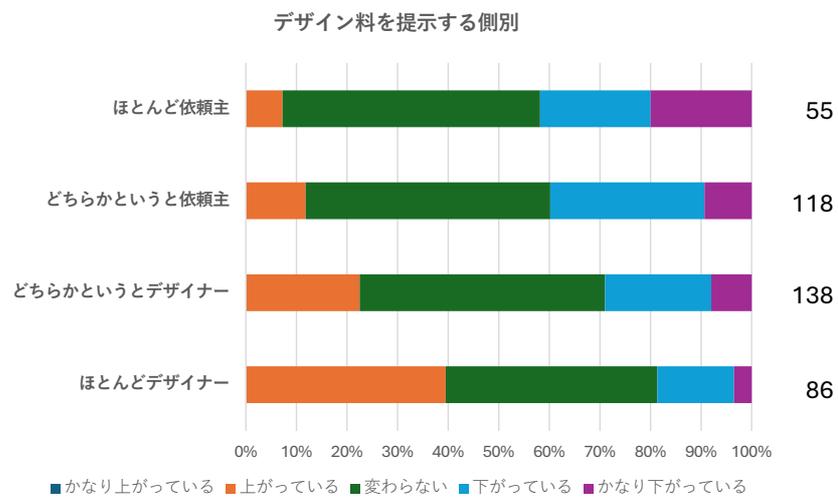
Q9. デザイン料金は変化していますか？

397 件の回答



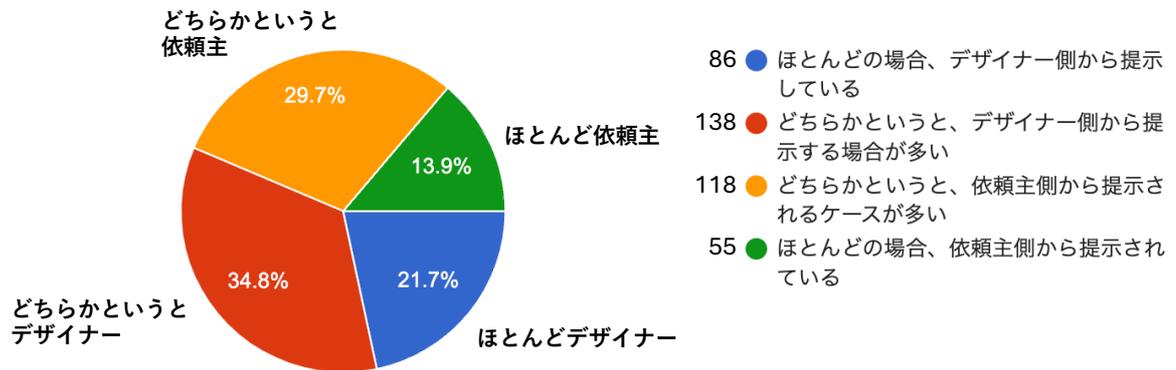
Q9. デザイン料金は変化していますか？

397 件の回答



Q10. デザイン料金をどのように決めていますか？

397 件の回答



Q11. 上記の報酬のこと以外で何か課題はありますか？ (1)

187件の回答

●デザイン料金 (62件)

- ・ 仕事の内容が増えてもデザイン料金は変わらない
- ・ クラウドソーシングの普及や、生成AI・ツールの発達による相場の下落
- ・ 物価高でもデザイン料金は据え置き
- ・ 不景気による価格競争
- ・ 無償のデザイン提案
- ・ 実費や修正作業を価格に反映できない
- ・ 依頼後の値引き交渉、減額
- ・ 地域のデザイナーの格差
- ・ JAGDAのデザイン料金表のアップデート

●デザインの価値や理解 (30件)

- ・ デザインの価値や有用性が認められていない
- ・ デザイナーの仕事が理解・認知されていない
- ・ クラウドソーシングの普及や、生成AI・ツールの発達による地位の低下
- ・ クライアントのリテラシーが低い

Q11. 上記の報酬のこと以外で何か課題はありますか？ (2)

187件の回答

●知的財産・契約 (25件)

- ・著作権の譲渡や著作者人格権の不行使を契約させられる
- ・データでの納品、無償提供を迫られる
- ・契約方法がわからない
- ・立場が弱いため妥協することが多い

●仕事の減少 (22件)

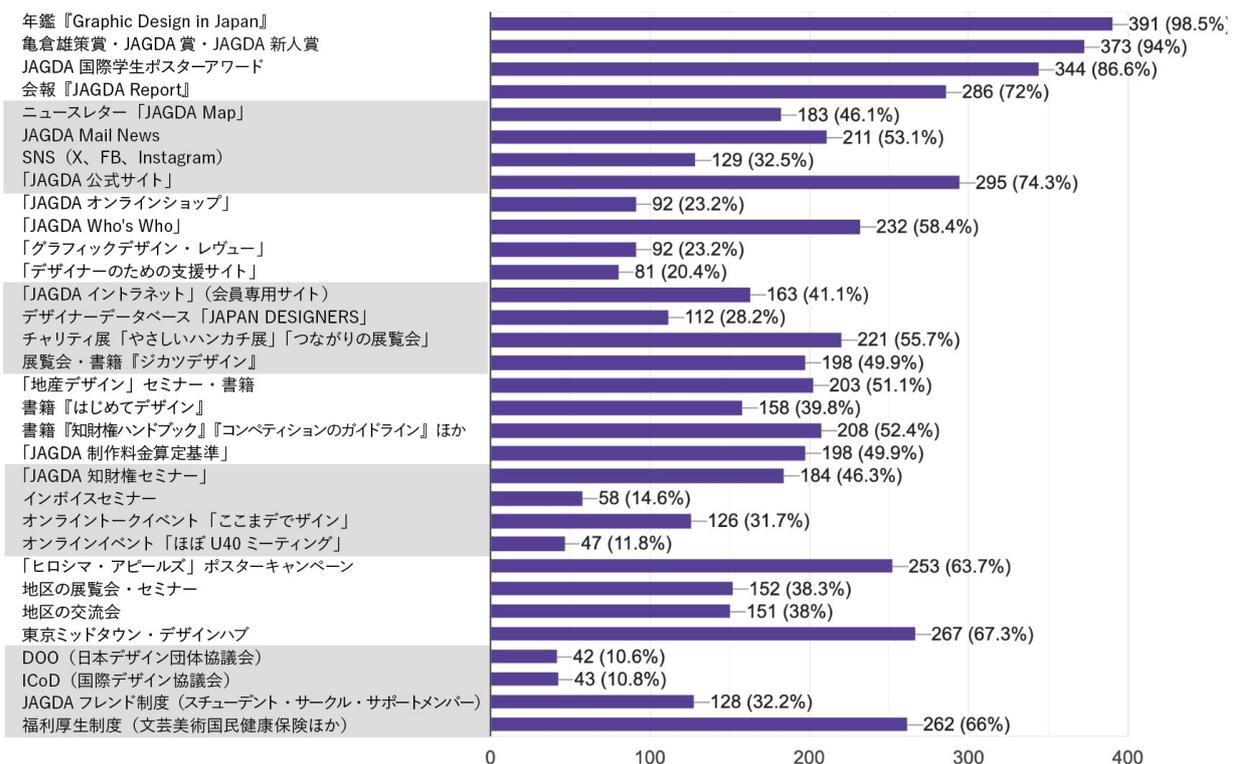
- ・グラフィックデザイン・印刷媒体・紙媒体・DTPの仕事の減少
- ・新規クライアントの獲得が難しい
- ・AIによる仕事の減少の不安
- ・コロナ以降、需要が減っている
- ・地域における仕事の減少
- ・高齢になった時の依頼の減少、収入源の確保

●その他

- ・納期が短い (短納期かつ低価格、など)
- ・働き方 (ライフワークバランス、人材不足、など)

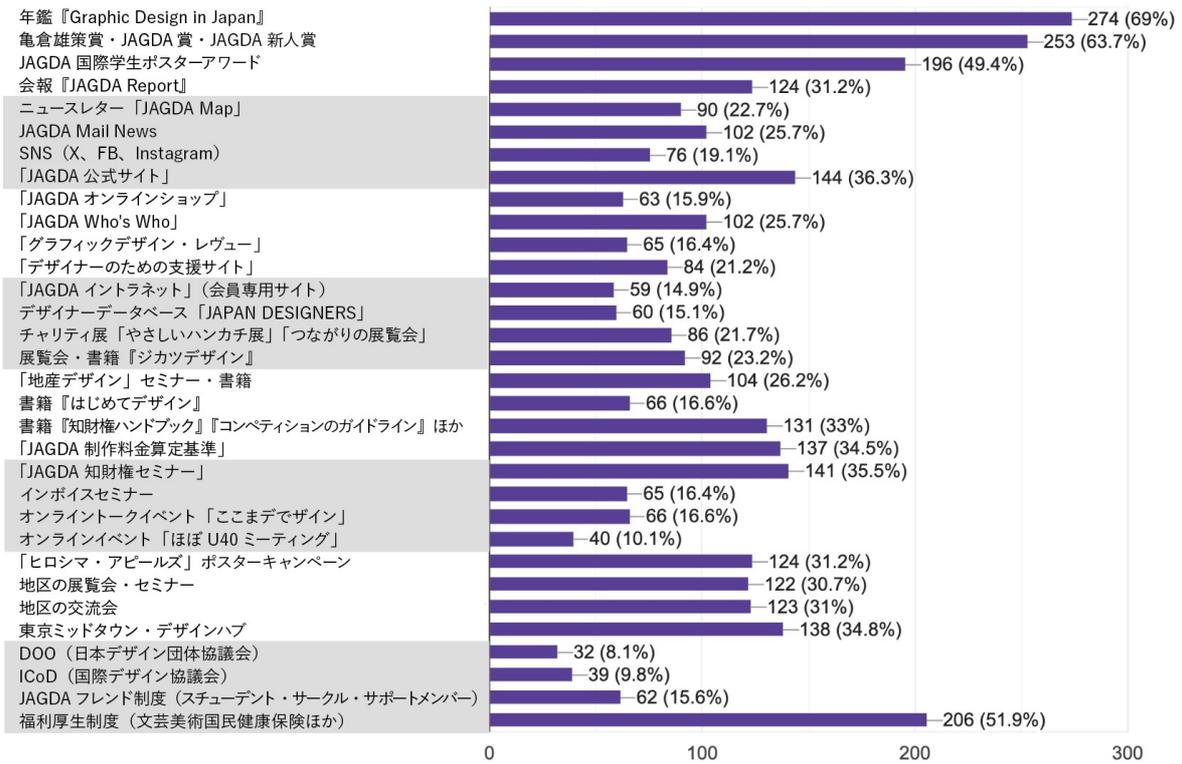
Q12. JAGDAの活動として知っているものは何ですか？ (複数回答可)

397件の回答



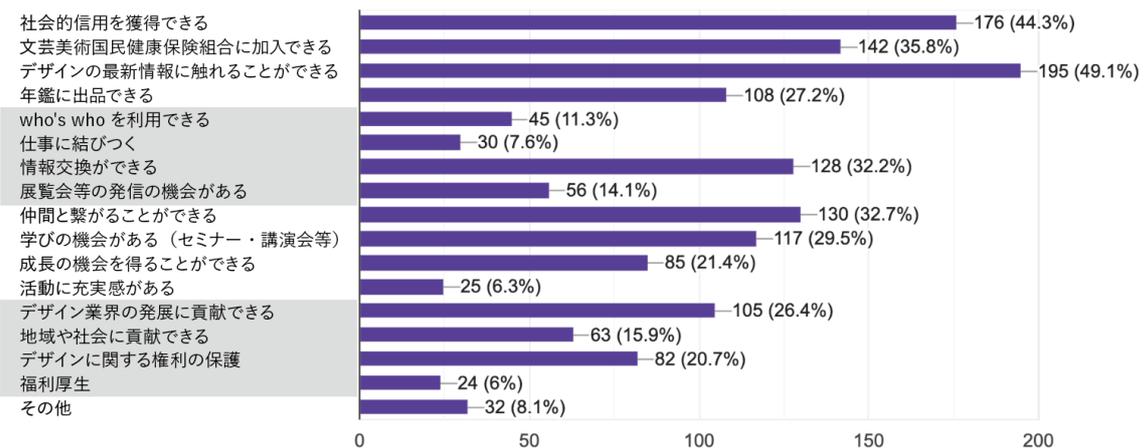
Q13. JAGDAの活動として良いと思うものは何ですか？(複数回答可)

397件の回答



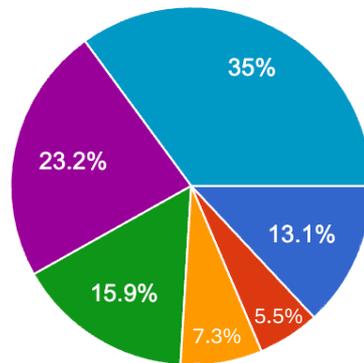
Q14. あなたがJAGDAに所属している主な理由を教えてください。(複数回答可)

397件の回答



Q15. JAGDAの地区活動への参加状況を教えてください。

397 件の回答



- 52 ● 事業運営に関わっている
- 22 ● 事業運営を手伝うことがある
- 29 ● 積極的に参加している
- 63 ● たまに参加している
- 92 ● ほとんど参加していない
- 139 ● 参加したことがない

Q16. どんな活動があれば参加したいですか？

202件の回答

●主な回答

- ・ 交流会・会員や地域とのつながり 47 (23.3%)
- ・ 展覧会 29 (14.4%)
- ・ 社会貢献や地域活性 23 (11.4%)
- ・ 仕事や収入（料金）につながるもの 22 (10.9%)
- ・ 勉強会・セミナー 22 (10.9%)
- ・ デザイン教育 12 (5.9%)

Q17. 現在JAGDAが抱えている課題は何だと思いますか？ (1)

242件の回答

●全体

- ・デザイナーやJAGDAの認知度が低い
- ・デザイナーの地位やデザインの価値の低下（誰でもデザイナーになれる）
- ・JAGDAの存在意義がない、社会的な発信力が弱い
- ・新しいメディアやAIなどのテクノロジーに対応していない
- ・社会とのギャップ（印刷物中心、作品中心など）
- ・会員のメリットがない

●組織・運営

- ・役員などの顔ぶれが同じ、女性の役員が少ない
- ・運営が閉鎖的、透明性がない
- ・東京中心で地域との格差がある（人数格差、人材不足など）
- ・会員の高齢化／若い人が少ない／女性が少ない
- ・会員の交流や地域のつながりが希薄
- ・会員の参加意識や倫理観の低下
- ・会費が高い（会費分のメリットがない）
- ・事業規模の適正化、財政面での健全化

Q17. 現在JAGDAが抱えている課題は何だと思いますか？ (2)

242件の回答

●年鑑

- ・選考委員や受賞者の顔ぶれが同じ
- ・評価基準や選考経緯の詳細が分からない。審査の透明性や公平性に疑問
- ・実験性・作品性だけでなく、社会性や市場性・ロングライフなどの評価軸もあるとよい
- ・年鑑で評価される作品とビジネスで評価される作品ものとのギャップ、社会との接点が見えない
- ・新人賞の年齢制限（出産・子育てする女性に厳しい）
- ・出品料が高い、無料にすべき
- ・出品方法をかえてほしい（現物での出品が負担／直接持ち込みにしたい）

●その他

- ・東京2020エンブレム騒動の対応（制作者サイドで意見すべきだった／悪いと言うべきだった）
- ・SNSで告発された会員に関する対応（対応が遅い／不安）
- ・会員に送付する印刷物を減らしてはどうか

Q18. 今後JAGDAに期待することは何ですか？（1）

254件の回答

●全体

- ・デザイナーの地位向上、デザインの価値の啓蒙、デザインリテラシーの向上
- ・デザイナーやJAGDAの認知・発信
- ・行政への働きかけ（料金・コンペ・価値など）
- ・今後のデザインの方向性（可能性／未来／希望／定義／指標など）の提示
- ・社会貢献・地域貢献・地域の活性化
- ・職能の保護
- ・継続とさらなる発展

●組織・運営

- ・役員などの交代
- ・公平性・透明性・健全な運営
- ・世代交代、若い世代や女性会員の入会
- ・会費の値下げ

Q18. 今後JAGDAに期待することは何ですか？（2）

254件の回答

●年鑑

- ・審査員の交代（同じような作品が選ばれる）、女性の審査員を増やす
- ・審査内容や評価基準などの公開
- ・プロセスや制作意図の評価
- ・新人賞の年齢制限の撤廃（出産・子育てする女性に厳しい）
- ・出品料の無償化
- ・応募可能な制作期間の延長（小規模クライアントはロゴから小型グラフィックまで数年かかる）
- ・時代にあったカテゴリーの設置

●その他

- ・知財権の啓蒙や相談窓口の設置
- ・デザイン料金表の改訂、契約書の雛形の作成
- ・資格制度の創設
- ・オンラインイベントの実施（地方でも参加できる機会）
- ・会員割引などのメリット、サポート
- ・仕事のマッチング
- ・SNSで告発された会員に関する対応